

グリストラップ等・浄化槽の悪臭除去や分解にも使用されている

光合成細菌

規格：18L

光合成細菌とはどんな菌？

紅色硫黄細菌や紅色無硫黄細菌と言われる菌で、光を浴びると赤くなる液体です。

光合成細菌の分泌物は、植物や他の微生物の増やす生理活性物質(ビタミン類)が多く含まれています。

土壌中の悪臭物質(硫化水素、有害アミン、有機酸etc)と炭酸ガス(二酸化炭素)等有害物質をエサとして増殖する細菌です。サッチ分解で有名なバチルス菌(好気性菌)との違いは、光合成細菌は通性嫌気性のため、土壌中の酸素が少ない状態でも活躍出来る事が一番の違いです。

また、多くのアミノ酸やATP(アデノシン3リン酸)などの補酵素を分泌し光合成細菌を餌とする放線菌が増えて病害微生物が減少し有用微生物の繁殖環境を助け、植物本来の成長が促進されます。

ゴルフ場では、サッチ分解効果や土壌のガス抜き効果(CO₂除去)や硫化水素など悪臭物質の酸化(S₂,SO₄²⁻として植物に吸収される)等に利用されます。

菌自体が50%以上タンパク質(アミノ酸)で構成されているので、死滅しても植物や他の微生物の栄養源として再利用されます。

還元条件下で活性の高い光合成細菌を処理すると、土壌中のCO₂や硫化水素、メタンガスなどをエネルギー源として取り込み、アミノ酸や高エネルギーリン酸などを分泌するので根のストレスを和らげます。

サッチ分解効果

紅色硫黄細菌の共生菌が増殖する事により、共生菌や土着の好気性菌が増殖され、未分解有機物であるリグニンセルロース等の分解が促進されます。

ブラックレイヤー軽減

紅色無硫黄細菌は還元土壌下での硫化水素を硫黄、硫酸塩に変えガスの発生を抑え無害化させます。夏場にグリーンがドブ臭い時には、エアレーションを行い光合成細菌を散布すると効果があります。

肥料農薬の軽減

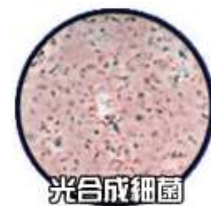
放線菌の増殖は著しく、サッチの分解はもとより、フザリウムなどの病原菌の細胞を溶かして殺してしまう効果も期待できます。また、光合成細菌は、窒素固定の働きもあるので肥料の軽減化にも役立ちます。

使用方法

500~1,000倍希釈 (m²/1~2cc) 散布水量500cc~1 l

農薬との混合は可能ですので夏場の使用も可能です

光合成細菌の菌数：1g当たり10⁸~10⁹個



光合成細菌

※マックスウォッシュとの併用推奨・・・マックスウォッシュに配合されているプロピオン酸は光合成細菌の餌となります。

※長期間倉庫に保管する場合は使用前にダンボールから出して日の当たる場所に置いてください。

土壌中の嫌気性菌(硫酸還元菌etc)が繁殖すると、硫酸イオンなどが還元され(酸素を取られる)硫化水素(H₂S)となってガス化するか、硫化水素イオン(H⁺, S₂⁻)の形で鉄イオン(Fe²⁺)と反応して硫化鉄(FeS)になります。これが蓄積すると土壌が黒化してヘドロ臭がします(ブラックレイヤー)。

販売元



株式会社クルーガー

〒305-0035 茨城県つくば市松代 3-17-33

TEL 029-886-5001

FAX 029-886-5003

<http://www.kluger.co.jp>

販売店